

松川、いたち川及び富岩運河における、富山県、富山市、富山観光遊覧船株 協同の「水辺のまちづくり」取組み経緯年表（その1）

平成27年2月 製作：富山観光遊覧船株 令和元年6月追記

年	富山県	富山市	富山観光遊覧船株式会社	その他 関連事象等
明治34年(1901年)	神通川馳越線工事開始			
明治36年(1903年)	神通川馳越線工事終了			
大正11年(1922年)	馳越水路が本川となり旧河道は廃川地となる			
昭和3年(1928年)	富山都市計画事業決定 1 富岩運河を新設 沿川に工場を誘致 2 運河掘削土砂で神通川廃川地を埋立て 新市街地を整備 3 残土で東岩瀬港岸壁、埠頭用地			
昭和5年(1930年)	富山都市計画事業工事開始			
昭和10年(1935年)	富山都市計画事業工事終了 県庁本館完成			
戦後～			戦後、松川は砂利船が行き来、漁師の笹舟も行き来する。運河は材木輸送の曳き船が細々と運航するのみ 30年代からほとんど利用が無い	
				昭和40年代～松川汚濁進み魚が住まない川となる
				昭和44年 鯉の稚魚放流(神通川をきれいにする会)
		昭和50年頃？ 松川埋立暗渠化計画を中止する		昭和40～50年代 松川と富岩運河に埋立ての危機
昭和54年(1979年)	松川のヘドロ浚渫を行う 松川における最初の美化活動			
昭和55年(1980年)	市と共同で松川のヘドロ浚渫を行う	県と共同で松川のヘドロ浚渫を行う		
昭和58年(1983年)			昭和58年頃、遊覧船会社の親会社であるグッドラック富山(タウン誌)に富山市から市の観光振興に関する企画提案の依頼がある	
昭和59年(1984年)	「とやま21世紀水公園 神通川プラン」を策定 富岩運河の埋立計画の見直しが決定	6月 松川ペリ彫刻公園完成	昭和59年 グッドラック富山(タウン誌)で誌上座談会を開催し観光振興案を探る 遊覧船を活かした「松川等水辺のまちづくり」を富山市へ提案 市では事業化できないと回答あり	昭和59年 国・松川浄化用水導水設備工事完成
昭和60年(1985年)	昭和59年より松川河川内遊歩道整備に着手(犬走り) 七軒町～本町までの右岸側を整備(平成3年完成)		富山市では遊覧船を事業化できないということで 民間による事業化を模索 富山県や富山市へ同意依頼など行うが調整は大変難航する	昭和60年 松川浄化用水導入開始
昭和62年(1987年)	「ポートルネッサンス21」を策定		8月 グッドラック富山が神通川の笹舟を利用した 松川遊覧船の試乗会を行う 10月 グッドラック富山が呼びかけ 地元経済界有志より支援を受けて 富山観光遊覧船株を設立	「松川を美しくする会」活動開始
昭和63年(1988年)	「とやま都市MIRAI計画」を策定		4月 富山観光遊覧船株 松川遊覧船 運航開始 松川丸 富山城丸 滝廉太郎丸、荒城の月丸、舟橋丸の5隻にて	6月 木町の浜跡に常夜灯寄贈される 東田地方 伊原宗一郎氏ら 11月 桜木町河畔に大正期ガス灯復元寄贈 国際R 日本海ガス
平成元年(1989年)	9月 舟橋 架け替え工事完了	4月 松川と城址公園を一体整備した「親水のにわ」を整備		中沖前知事、「青年の翼」の名誉団長として、サンアントニオを視察
平成2年(1990年)		このあたりから道路維持課で4月～11月(月1回)松川河川内清掃開始？		
平成4年(1992年)	富岩運河環水公園建設工事を開始	3月 松川 七十二峰橋 架け替え工事完了 9月 下水道デーで松川に鯉を放流後 松川遊覧船で船上教室開催	3月 駅舎(松川茶屋)が富山城址公園内に完成 4月 松川茶屋 営業開始	5月、富山市庁舎が市制施行100周年記念事業として完成(日本設計社長の池田武邦氏が設計統括)…スウェーデンの首都ストックホルム市庁舎(ノーベル賞の記念晩餐会の会場)をモデルにしたそう。池田氏は3月25日にオープンしたハウステンボスの設計統括もされた。
平成5年(1993年)		下水道デーでの松川に鯉放流後の船上教室は H10まで連続開催	10月 「松川丸」に電動船外機を搭載 (環境問題に対応した電動遊覧船の可能性を探る運航実験を行う) 10月 浅瀬で運航に支障あり、松川の浚渫を人力で行う	
平成6年(1994年)			3月 松川遊覧航路の旅客不定期航路事業 許可 4月 松川に 旅客船「滝廉太郎Ⅱ世号」就航	
平成7年(1995年)	3月 松川 ブルドーザー等を使用した1回目の大規模浚渫を行う	12月 松川橋 改修 欄干に屋根形船や桜をあしらう H8 2月完成		
平成9年(1997年)		このあたりから第1期 松川ペリ桜の樹勢回復対策事業開始 5年間 6月 松川 華明橋 架け替え工事完了		中村孝一、サンアントニオ初訪問。「サンアントニオ水都物語」著者のバーノン・G・ズンカー氏をインタビュー。
平成10年(1998年)	3月 松川浄化用水導入施設に除塵機を設置 中島開門復元工事終了(重要文化財指定) 9月 松川、いたち川合流地点右岸付近堆積土砂を撤去及び浚渫	安住橋改良工事 欄干にステンドグラス、ガラス作品が使用される	7月 松川の賑わい創出イベント「第1回まつりバーライブ」開催 8月 浅瀬で運航に支障あり、松川の浚渫を人力で行う	
平成11年(1999年)	3月 松川 ブルドーザー等を使用した2回目の大規模浚渫を行う 富岩運河環水公園完成 8月 「全国運河サミットinとやま」開催 桜橋 改修 (有形登録文化財に指定)		8月 旅客船 滝廉太郎Ⅱ世号に環境負荷を低減した4ストローク機関を採用 8月 富岩運河遊覧航路 不定期航路事業届出 期間限定の事業開始 8月 「富岩運河探検クルーズ」を「全国運河サミットinとやま」にあわせ 1ヶ月間運航 8月 「富岩運河ナイトクルーズ」運航	
平成12年(2000年)	6月 松川茶屋対岸に親水護岸を整備(リバーステージ)		富岩運河での遊覧船運航における富山県の同意を依頼するも却下となる これが原因→	富岩運河底質から高濃度ダイオキシン見つかる
			8月 松川の賑わい創出イベント「第2回まつりバーライブ」開催 10月 路面電車と松川遊覧船の共通船車券の発売開始、回遊観光を提案	
平成13年(2001年)	牛島開門復元 (H14 有形登録文化財指定) 2月いたち川取水堰ラバー部本体工事完了		8月 松川の賑わい創出イベント「第3回まつりバーライブ」開催	

松川、いたち川及び富岩運河における、富山県、富山市、富山観光遊覧船株 協同の「水辺のまちづくり」取組み経緯年表（その2）

平成27年2月 製作：富山観光遊覧船株 令和元年6月追記

平成15年(2003年)	5月 いたち川取水堰使用開始(周辺付帯工事完了後)	2月 塩倉橋 改修 裏側に景観を配慮した塗装を施す	9月 神通川馳越線工事100周年記念「川と街づくり国際フォーラム」開催 実行委	中村孝一が案内役となり、11月に県議、市議、元行政マン(総勢19名)がサンアントニオを視察。(10月には、富山商工会議所の米国産業経済視察団もサンアントニオを視察)
	9月 神通川馳越線工事100周年記念「川と街づくり国際フォーラム」後援		「リバーフェスタinとやま2003」開催 リバーフェスタは以後毎年開催	
平成16年(2004年)	3月 松川水門自動化完了			
平成17年(2005年)	3月 松川茶屋横 護岸に親水性を高める掘り下げ工事行う	このあたりから合流下水道緊急改善事業に着手?	3月 松川水位確保の為 松川下流に自然土による堰を設置→7月の大雨で流失	
平成18年(2006年)		このあたりから第2期 松川ベリ桜の樹勢回復対策事業開始 5年間	2月 富岩運河での遊覧船運航における富山県の同意を依頼するも却下となる	9月、富山青年会議所、「水の都 とやま～松川 Waterside Festival」を開催
	3月 松川の水位確保の為 いたち川宮下橋上流に固定堰を設置		6月頃 富岩運河での遊覧船運航に関して富山県の同意が得られる	
			9月 富岩運河いたち川遊覧航路の旅客不定期航路事業 許可	
			9月 富岩運河 環水公園～カナル会館までの視察運航を実施(県港湾行政担当者等が乗船)	
			10月 「富岩運河遊覧船」本格運航開始	
			10月 「運河まつり2006」にて「富岩運河遊覧船」運航	以後 水草除去がなされない為、富岩運河遊覧船は運航できず
平成19年(2007年)	2月 松川茶屋下遊歩道拡張工事を行う	2月 「富山市中心市街地活性化基本計画」認定		5月、森富山市長がサンアントニオ・リバーウォークを視察
	3月 松川、いたち川合流地点付近堆積土砂を除去	3月 「富山市総合計画2007-2016」を策定		
	「富岩運河元気わくわくプロジェクト」が運河再発見プロジェクトに認定		4月 松川に 旅客船「神通」就航(環境負荷を低減した4ストローク機関を採用)	
平成20年(2008年)	6月 「元気とやま創造計画」を策定	10月 東京から電動船を借りて富岩運河舟運の社会実験を行う	12月 富山県主催「スイートクリスマス2007」で滝廉太郎Ⅱ世号 1日限定ナイトクルーズ	
		12月 第1回松川いたち川等水辺空間活用方策検討懇話会	以後 水草除去がなされない為、富岩運河遊覧船は運航できず	
		2月 第2回松川いたち川等水辺空間活用方策検討懇話会 3月 第3回松川いたち川等水辺空間活用方策検討懇話会 3月 「富山市都市マスタープラン」「富山市観光実践プラン」を策定		
		9月 第1回松川等水辺空間整備検討委員会を開催(以後 開催なし)	9月 富岩運河遊覧船運航の申請を行うが集客が見込める日が許可されず通常運航を断念 以後、チャーター運航のみとなる	
平成21年(2009年)		2月 塩倉橋 改修 欄干を新設		
	3月 「水辺のまち夢プラン」を策定	3月 「富山市環境モデル都市行動計画」を策定		
平成22年(2010年)	7月 富岩運河での遊覧船を市と共同で学習支援船として社会実験開始	7月 富岩運河での遊覧船を県と共同で学習支援船として実験開始	6月 当社の富岩運河遊覧船事業が行えない為、県・市の学習支援船運航業務に応募 受託する	
	以後、富岩水上ラインとして継続運航	2月 安住橋 改修 橋の裏側に景観を配慮した塗装を施す		
平成23年(2011年)		7月 松川処理分区雨水貯留管設置を決定 H29完成予定	松川遊覧船の乗船人数が運航開始以来28万人(概算)を突破	
	2月 松川の舟橋橋下付近の堆積土砂を撤去(ポンプ揚泥車にて)	11月 塩倉橋欄干に「フラワーハンギングバスケット」を設置		松川を美しくする会 県ふるさと川応援団支援事業の交付を受ける (平成23年度～平成25年度まで3年間)
平成24年(2012年)	7月 高志の国文学館開館	11月 松川処理分区雨水貯留管設置工事起工		3月、ミズベリング・プロジェクトスタート(国交省 水管理・国土保全局支援)
	(塩倉橋から文学館まで堤上遊歩道再整備、舟橋南町親水護岸の再整備)			
平成25年(2013年)			11月5日 代表取締役中村孝一 富山市産業経済功労表彰を受ける 理由:遊覧船運航等の観光案内を通して本市の魅力を全国に発信し観光振興に貢献した	
平成26年(2014年)	1月 松川、いたち川合流地点右岸付近堆積土砂を撤去 (浚渫までは行っていない模様)			
		11月 富岩運河ダイオキシン対策工事に着手(中島閘門上流 覆砂工法)		
平成27年(2015年)	3月 北陸新幹線開業	3月 松川ベリ公衆便所リニューアル工事完了	3月 松川に 旅客船「神通Ⅱ」就航	
平成28年(2016年)	2月 松川の舟橋橋下付近の堆積土砂を撤去(ポンプ揚泥車にて)			
平成29年(2017年)	10月 松川の助作川下流に形成された浅瀬堆積土砂を一部撤去(ポンプ揚泥車)	12月27日、富山城址公園北側・松川周辺エリアの基本計画検討委員会の初会合。委員長に、東京大大学院の中井祐教授(景観論)を選んだ。		2月1日、「水の都とやま」推進協議会の発起人会。5月17日、設立総会開催。
				7月7日午後7時7分、「水辺で乾杯in松川茶屋テラス」実施。(ミズベリング)
平成30年(2018年)	3月 県 親水のにわの汚泥、塩倉橋～華明橋の中間付近の土砂撤去(ポンプ揚泥車にて一部)	5月 松川処理分区雨水貯留管共用開始		5月20日、「水の都とやま」推進協議会 第2回総会
		8月31日、富山城址公園北側・松川周辺エリアの基本計画検討委員会が計画をまとめ、整備イメージを公表。9月から整備計画検討委員会に移行。作業部会を中心により具体的な整備計画について話し合いを開始。		7月7日午後7時7分、「水辺で乾杯in松川茶屋」実施。(ミズベリング)
		9月27日～令和2年1月24日の工期で旧富山市立図書館の解体始まる。		
平成31年(2019年) 5/1から令和元年	3月 県 松川の舟橋橋下付近から下流の堆積土砂を撤去(ポンプ揚泥車にて一部)	3月24日、富山市民プラザ前で開催された「東京大学×富山大学 城址公園学生まちづくりプロジェクト 新しい城址公園の活用方法について一緒に考えませんか!？」のブースで模型や3D映像を使って計画イメージを市民に公表。	1月 松川ウインタークルーズ運航	
				5月12日、「水の都とやま」推進協議会 第3回総会